

# センターが行うサポートとは

## ● 学生のみなさん

### ① ボランティアに関する紹介や情報提供

情報誌への掲載、ホームページ、掲示、「でんでんぱん」などで広く情報提供をします。また、直接地域交流センターを来ていただければ、ボランティアの紹介も行います!!

### ② ボランティア活動に関する相談・サポート

ボランティア活動で悩んだり、困ったりしたら地域交流センターへ。また、ボランティア活動で「こんなことしたい」「あんなことしたい」などあれば、気軽に相談しに来てください。サポートします! サークルで何かしたいというのも気軽にどうぞ!

### ③ 障害のある学生への支援

障害があり、大学生活・授業等で困難がある場合、気軽に相談をしに来てください。一緒にどのようなサポートが必要か考えましょう。

### ④ 「福祉マインド実践講座」に関する相談

「休んでプリントがない」「どのようにボランティア活動を行ったら、単位が取得できるのか」など、授業に関する疑問があれば、気軽に相談しに来てください。

その他にも、ボランティア活動で気になることがあれば、地域交流センターに来てください。お待ちしております!!

## ● 行政、福祉施設・団体、教育機関、企業、地域の皆様

下記に関するご相談等がございましたら、お気軽にご来室 又は お問い合わせください。

### ① ボランティアに関するご相談

### ② ボランティア募集に関するご相談

### ③ 地域交流センターとの連携に関するご相談

### ④ その他ボランティア活動・地域貢献活動に関するご相談

# GWANGO

～みんなの笑顔が わたしの笑顔～



## VOL. 36

福島県いわき市高久第一応急仮設住宅にて

発行日:2013年(平成25年)4月5日(金)

発行:田園調布学園大学 地域交流センター

〒215 8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘 3-4-1

TEL:044-966-2780 FAX:044-966-3512

E-mail:c-center@dcu.ac.jp

ホームページ:<http://www.dcu.ac.jp/region/regional01/>

# 地域交流センターの主な取り組み



## ボランティア養成講座

昨年度、麻生区社会福祉協議会ボランティア活動振興センターと連携し、座学・研修・振り返り交流会の3本立ての「麻生区ボランティア養成講座」、地域のボランティアの一層の充実を目指し、「ボランティアのつどい（交流会）」を開催しました。いずれも多くの地域の方々にご参加いただき、大変好評でした。今年度も連携し、より良い講座を開催したいと考えています。



## 被災地への復興支援活動

平成23年3月11日の東日本大震災発生直後、学生たちが中心となって募金活動が行われました。その後、本学教員のネットワークで、福島県いわき市への復興支援活動が開始されました。活動は、今でも継続的に行われ、いわき市にある仮設住宅ではお馴染みの活動になりつつあります。

地域交流センターはこの活動のサポートを行っており、センターのスタッフも活動に同行しています。主な活動は子どもたちを対象にしたサロン活動（ミニ手作り縁日、スイカ割り、リース作り、ひな人形作りなど）で、遊びを提供しています。最初の参加者は子どもたちのみでしたが、今では高齢者の方々にも楽しんでいただいています。



ミニ太くん

まゆりちゃん

## 子どもがつくる町「ミニたまゆり」

大学内に仮想の町をつくり、子どもたちが町の中で就業体験を行うイベントです。具体的には銀行や市役所などの公共のフロア、紙すきやシュシュ作りなどの製作のフロア、もぐらたたきやネイルサロンなどの遊びのフロア、ケーキや豚汁などの食事のフロアにある約70もの店舗の中から、好きな仕事を探し、働きます。働くとお給料（町の通貨「ユリー」）が支払われ、税金を納めた後、残ったお金で遊ぶことができます。このような社会のしくみを、子どもたちが楽しみながら学びます。

前年度の第8回のミニたまゆりは、初めて全日本空輸株式会社（ANA）による「航空教室」や株式会社あそびの森による「製作・ダンス」の体験ブースを設けた他、新企画として不要になった子どもたちのおもちゃや服などがユリーで買える「エコバザー」を開催しました。その結果、来場者数が2日間で3,000人を越え、大変盛り上がりました。